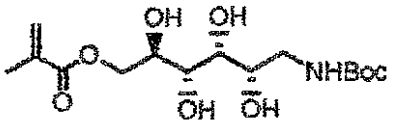
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成21年5月21日(2009.5.21)

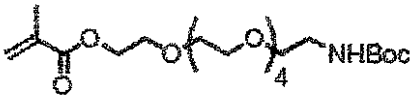
【公開番号】特開2007-326045(P2007-326045A)
【公開日】平成19年12月20日(2007.12.20)
【年通号数】公開・登録公報2007-049
【出願番号】特願2006-159594(P2006-159594)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｊ　20/26　　(2006.01)
Ｃ０８Ｆ 220/10　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｊ　20/26　　Ｈ
Ｃ０８Ｆ 220/10

【手続補正書】
【提出日】平成21年4月3日(2009.4.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
マイクロメートルサイズの、三次元網目状に連続した細孔及び骨格相からなる共連続構造をもつ、有機高分子ゲル状のアフィニティ担体の製造方法であって、当該製造方法が、以下の工程（１）及び（２）：
（１）架橋剤としての、ビニルモノマー化合物、ジメタクリレート化合物又はジアクリレート化合物から選択される二官能性モノマー成分と、
リガンド担持用モノマーとしての一官能性親水性モノマーと、
前記リガンド担持用モノマーに担持されるリガンドの親水的・疎水的環境を調整するための間引き剤としての一官能性間引き剤モノマーとを、
前記二官能性モノマー成分と「前記一官能性親水性モノマーと一官能性間引き剤モノマー」の体積比率が１００～１０：０～９０となるように配合する工程；及び
（２）水又は分子量５００以下の水溶性溶媒中、ラジカル重合開始剤の存在下に、共重合させてゲル状体を得る工程
を含むことを特徴とするアフィニティ担体の製造方法。
【請求項２】
前記二官能性モノマー成分と「前記一官能性親水性モノマーと一官能性間引き剤モノマー」の体積比率が９５～５０：５～５０であることを特徴とする請求項１記載のアフィニティ担体の製造方法。
【請求項３】
前記一官能性親水性モノマーと一官能性間引き剤モノマーの配合比が、モル比で１：１～１：１４であることを特徴とする請求項１又は２記載のアフィニティ担体の製造方法。
【請求項４】
前記一官能性親水性モノマーが、下記構造式に示されたｐＯＨ型モノマー又はＰＥＧ型モノマーであることを特徴とする請求項１～３のいずれか１項に記載のアフィニティ担体の製造方法。

【化１】



pOH型モノマー

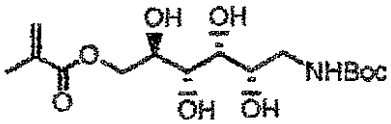


PEG型モノマー

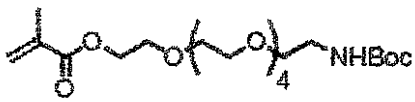
【請求項５】
前記一官能性間引き剤モノマーの末端部がＯ－メチル基であることを特徴とする請求項４に記載のアフィニティ担体の製造方法。
【請求項６】
前記水溶性溶媒が、エチレングリコール、ジエチレングリコール、トリエチレングリコール、テトラエチレングリコール、ペンタエチレングリコール、ヘキサエチレングリコール、トリエチルアミン、ビニルピリジン、ホルムアミド、ジメチルホルムアミド、アセトニトリル、アセトン、メタノール及びエタノールから成るグループより選ばれたものであることを特徴とする請求項１～５のいずれか１項に記載のアフィニティ担体の製造方法。
【請求項７】
マイクロメートルサイズの、三次元網目状に連続した細孔及び骨格相とからなる共連続構造をもつ、有機高分子ゲル状のアフィニティ担体であって、
当該アフィニティ担体は、架橋剤成分としての、ビニルモノマー化合物、ジメタクリレート化合物又はジアクリレート化合物から選択される二官能性モノマー成分と、
リガンドを担持できる一官能性親水性モノマー成分と、
前記一官能性親水性モノマーに担持されるリガンドの、親水的・疎水的環境を調整するための一官能性間引き剤モノマー成分との、共重合体からなり、
しかも、前記アフィニティ担体における前記二官能性モノマー成分と「前記一官能性親水性モノマー成分と一官能性間引き剤モノマー成分」の体積比率が１００～１０：０～９０であるアフィニティ担体。
【請求項８】
マイクロメートルサイズの、三次元網目状に連続した細孔及び骨格相とからなる共連続構造をもつ、有機高分子ゲル状のアフィニティ担体であって、
当該アフィニティ担体が、ジメタクリレート化合物又はジアクリレート化合物から選ばれる二官能性モノマー成分と、
下記構造式に示されるところの、リガンドを担持できるｐＯＨ型モノマー又はＰＥＧ型モノマーから選ばれる一官能性親水性モノマー成分と、
下記構造式に示されるｐＯＨ型モノマー又はＰＥＧ型モノマーにおける－ＮＨＢｏｃ基

に代えて、－ＯＭｅ基を有する一官能性間引き剤モノマー成分との共重合体であり、
しかも、前記アフィニティ担体における前記二官能性モノマー成分と「前記一官能性親水性モノマー成分と一官能性間引き剤モノマー成分」の体積比率が１００～１０：０～９０であるアフィニティ担体。

【化２】



pOH型モノマー



PEG型モノマー